

SAN-Ai

社会医療法人 三愛会 広報誌「さんあい」

Vol.31



ひとに笑顔を ちいきに“愛”を
社会医療法人 三愛会

社会医療法人 三愛会 広報誌「SAN-Ai」 Vol.31 (2024年4月1日発行)

発行元/〒870-1151 大分市大字市1213番地 TEL.097-541-1311 社会医療法人 三愛会 大分三愛メディカルセンター 広報委員会

社会医療法人 三愛会/www.san-ai-group.org/ 三愛総合健診センター/www.kenkou-oita.com

Data of Pancreatic Cancer 〔膵臓がんに関するデータ〕

早期発見割合

5%未満

自覚症状に乏しいこともあり、また1cm以下とされる早期の膵がんは胃の裏側などに隠れていることもあり、一般的な健康診断で発見するのは困難。

10年生存率

5.4%

膵がんにかかった患者が、10年後に生存しているかどうかの数値。同じ腹部の臓器である胃がんが57.6%、大腸がんが57.9%であることと比べると、がんの中でも圧倒的に生存率は低い。※国立がん研究センター2023年発表の統計より

死亡者数

37,677人

男女はほぼ半々。罹患数は、がんの中で順位づけをするとそこまで高くはないが、毎年多くの方が膵がんで命を落としている。※2020年統計より

死亡原因

4位

肺がんや大腸がんには及ばないものの、死亡原因は高い。女性においては、女性のがんのイメージが強い乳がんよりも高く、3位につけている。※男女計/がん年齢調整死亡率年次推移/部位別(1958年～2020年)より

新規罹患患者数

43,865人

他のがんと比べて突出して多いわけではないが、男女ともに、毎年2万人以上が膵がんと診断されている。※2019年統計より

自覚症状の出現

25%

早期の膵がんでは、そもそも症状が現れることがあまりなく、あったとしても軽い腹痛、背中の痛み、体重減少、吐き気など。ありふれたもので、がんの可能性に気づきにくい。

膵臓がんの早期発見に固執する。

大分三愛メディカルセンター・消化器病・内視鏡センター



厚

生労働省の統計によると2022年の日本人の死因は、悪性新生物(腫瘍)が全体の24.6%で、変わらず「がん」が1位を占めている。医療技術の発展とともに、イメージされるような「治らない病気」というものではなくつつあるが、さまざまな部位に発生し、誰もうる病気という意味では、予防を意識するに越したことはない。

なかでも特に恐れられているが、たとえば、膵がんが挙げられる。他の多くの臓器のがんで、早期発見の技術や新規治療の開発などによって予後が改善されている一方、膵がんの5年生存率は10%未満にとどまっている。つまり膵がんは10人中1人が生き残れるかどうか、という危機的状況であり、固形臓器がんの中で最も予後が悪いがんであるといわれている。

実際に膵がんは、日本人の部位別死亡原因で男性4位、女性3位となっている。アメリカにおいても3位前後となっており、数年後にはこの状況はさらに悪化すると予測されている。

著名人が、がんで亡くなるとメディアでにわかに話題になるものだが、その原因が膵がんだった、というパターンは多い。「治らないがん」

「恐ろしいがん」の代名詞になりつつあるが、早期発見が非常に重要ながんであるともいえる。この場合「早期」とは10mm以下の腫瘍で診断できたものを指し、ステージ0といえはステージ0と1の一部。そして膵がんが10mm以下で治療できた場合、5年生存率(5年後に生存しているかどうか)は、なんと80%を超えるというデータがある。

いかに早期発見が重要か。しかしながら、膵がん全体における早期膵がんの割合は5%に満たない。つまりは、そもそも早期での発見が非常に困難ながんなのだ。大分三愛メディカルセンターの消化器病内視鏡センターでは、さまざまな技術を駆使しながら「10mm以下の早期膵がん発見」を喫緊の課題としている。



膵がん発見に有効なEUS(超音波内視鏡)検査

早期発見で
80%以上
は完治できる。

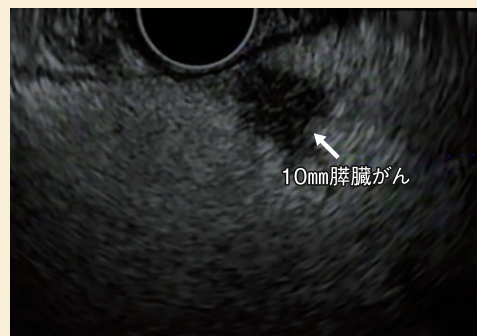
膵

臓がんは、早期(顕微鏡でのみ診断できる、進行度ステージ0のものや、大きさ1cm以下のもの)で発見され、治療を行った場合、5年生存率は80%を超える。いかに早期発見が重要かがわかるとともに、決して「治らないがん」ではない、ということが数字にも表れている。

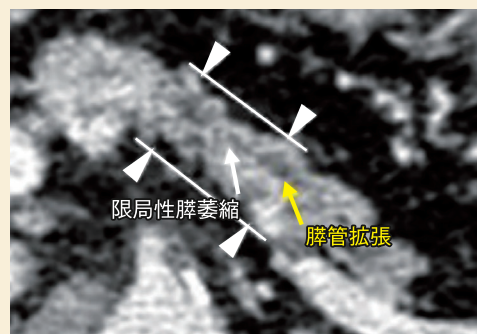
膵がんの検査・治療法



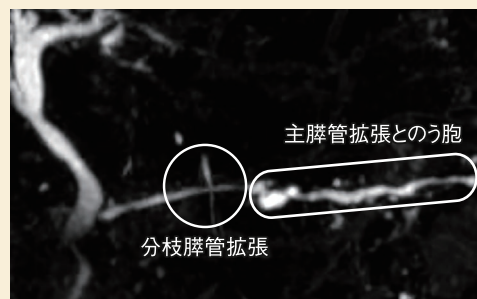
早期膵がんStage0-1A



超音波内視鏡 (EUS) の画像



CT検査での画像



MRI画像

早期膵がん診断のキーとなる画像検査

腹部超音波検査
健診などで最も一般的なものは、腹部超音波検査。ただ単に超音波検査を行っても膵臓は胃内の空気により全体の観察が難しい。当院では、膵疾患リスクがある際に膵臓の観察がより明瞭となるミルクティー・飲用後検査を導入し、早期膵がんの関連兆候の拾い上げを意識して検査している。

CT検査
単純CT検査では、膵がん発生にともなう膵臓の形態変化がないかどうか注目して読影を行っている。腹部造影CT検査では、血管に造影剤を注入して造影時間ごとの撮影を4パターンで解析し、詳細に膵臓を描出して診断

率向上を図っている。

MRI (MRCP) 検査
MRI装置で、胆嚢や胆管、膵管を同時に映し出せる検査。CTと異なり放射線被ばくがないため、身体への負担がない。膵がんの発生兆候である膵管の変化やう胞変化を捉えやすい。

超音波内視鏡検査 (EUS)
胃カメラの先に超音波機器が付属し、消化管の内側から隣接する臓器を描出できる。10mm以下の微小腫瘍もしっかりと映し出せ、超音波造影剤を使うことで、リアルタイムで腫瘍の評価もできる。腫瘍が見つければ、組織検査で確定診断を行うことができる。

内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査 (ERCP)
直接膵管内に造影剤を注入し、膵管の変化や膵液を採取し、膵

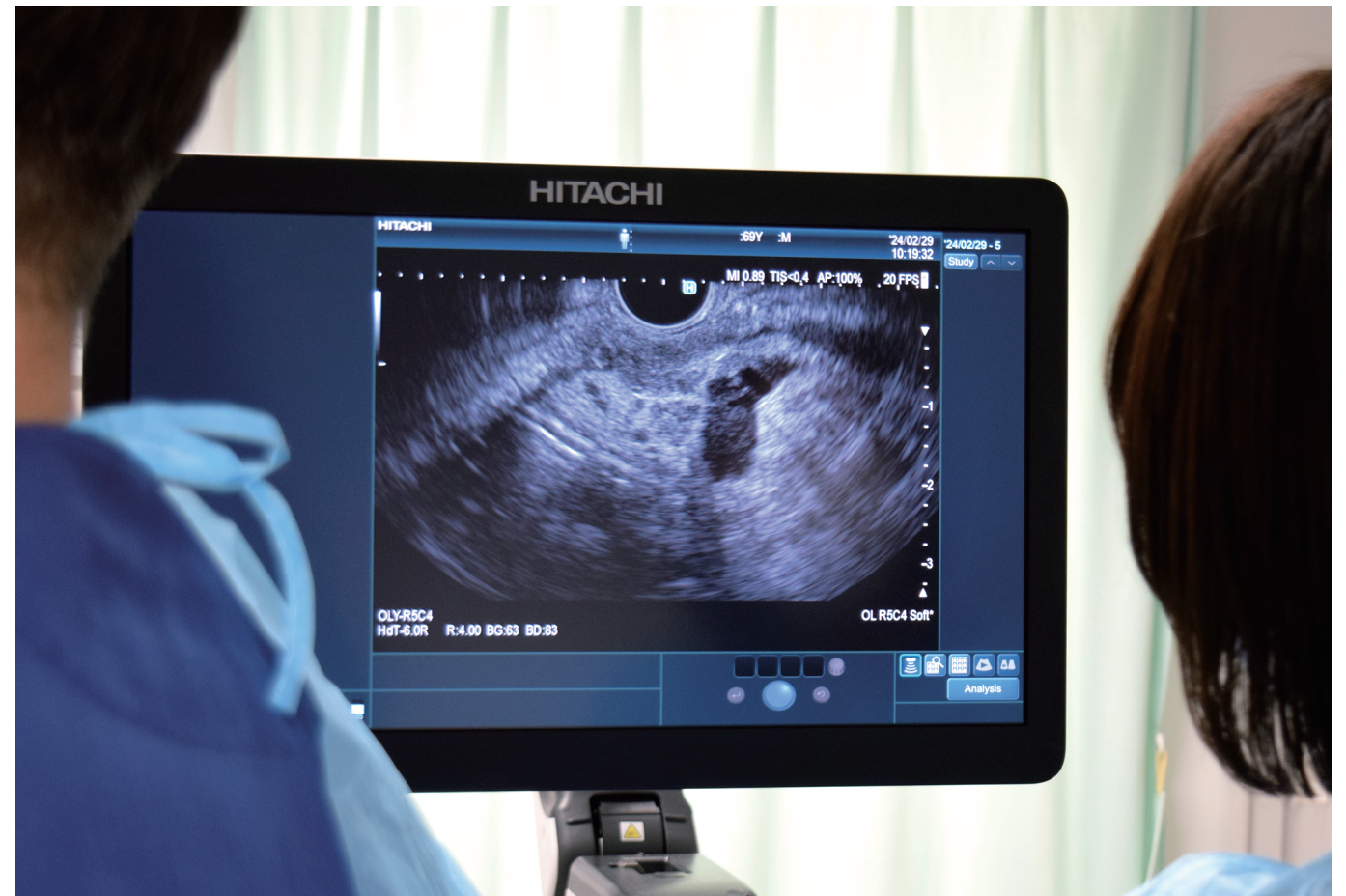
液内の細胞から膵癌の有無を調べる検査。入院が必要で、検査後に膵炎を発症するリスクもあるが、腫瘍としての形になる前の膵がんを捉える、超早期であるステージ0膵がんの唯一の診断法である。

治療法
治療の基本は手術であるが、ステージに応じて化学療法（抗がん剤治療）を先行してから手術を行うことが多い。放射線治療を併用することもある。膵がんの発生部位によっては術式は変わるが、部位によっては腹腔鏡下膵体尾部切除術で低侵襲手術も行っている。

各々の検査で長所・短所があるが、早期膵がんの診断に関してはすべての検査を利用し、多角的に病変を捉える必要がある。

“沈黙の臓器”のリスクとは

膵臓は食物の消化を助け、血糖値の調節のためのホルモンを産生する臓器である。膵臓がんは進行するまで症状がほとんどなく、早期発見が非常に困難だといわれている。早期がん(1cm以下)で症状がある確率は、わずか25%である。



膵臓がんのリスクが高い人と危険因子

- 膵臓がんになった家族がいる・・・**1.7～6.8倍**

生活習慣での危険因子

- 肥満 (BMI30以上)・・・**1.2倍**
- 飲酒量が多い (1日1合以上)・・・**1.2倍**
- 喫煙者・・・**1.7倍**
- 糖尿病・・・**2～4倍**
- 糖尿病と初めて診断された・・・**5～8倍**

その他の危険因子や症状

- 慢性すい炎と診断されたことがある・・・**5～18倍**
- 膵臓にう胞があると診断された・・・**3～26倍**
- 血液検査で膵臓の酵素や腫瘍マーカーが高い
- みぞおちや背中への痛みがある
- 短期間で体重減少がある
- 黄疸がある

膵

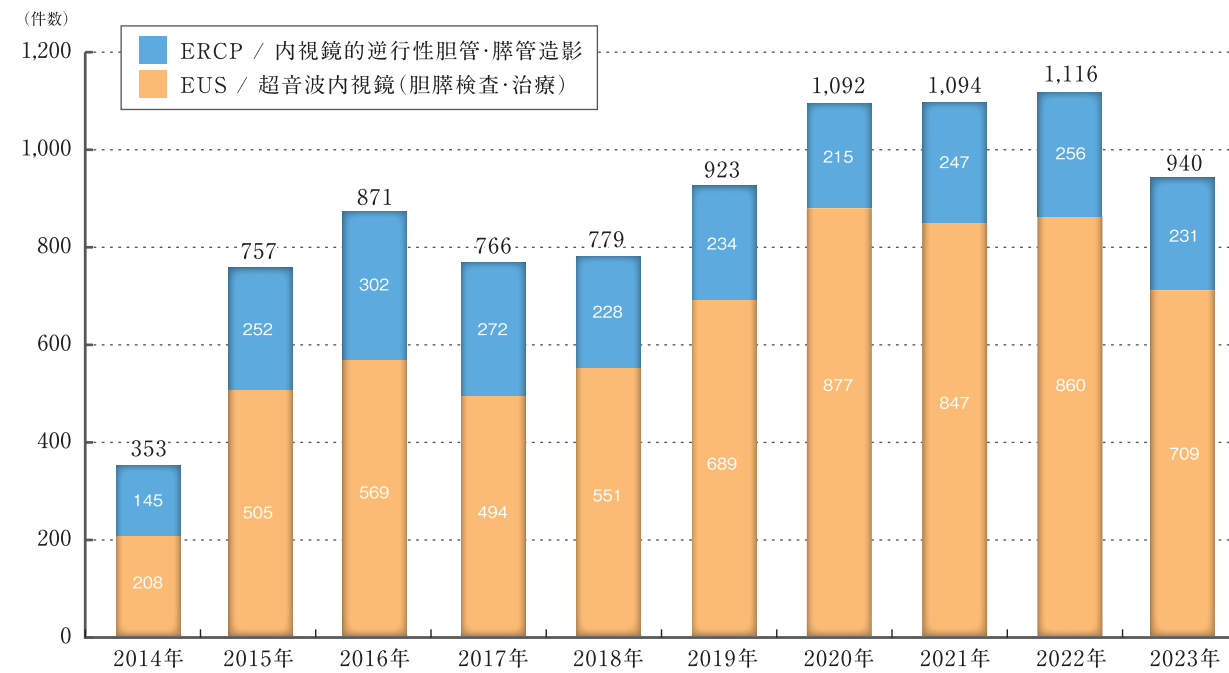
膵は「沈黙の臓器」の異名を持つ。膵がんの初期段階では症状がほとんどなく、血液検査をした段階で見え認められることは非常に稀。さらには、膵臓自体が幅2cm、長さ15cm、20cmと小さく、胃の裏側に隠れていることも厄介な点になる。エコー検査では観察しづらく、CT検査でも専門医師の細かい読影でようやく疑われるレベルだ。一般の健康診断での早期発見は困難で、発見されたときにはかなり進行していることが多い。これが、「膵がんは治らない」と思われている原因だろう。

早

期発見のポイントの一つとして、「問診」が挙がる。膵がんとなる人には特徴があり、左記のような「リスク因子」がある。そのため、たとえば大分三愛メディカルセンターに併設する三愛総合健診センターの場合、こういった項目を追加し、リスクの高い受診者には精密検査を行うよう勧めている。結局、一番大事なのは、普段からの健康診断や検診受診であることに間違いはない。

膵臓・胆道に関わる内視鏡検査・治療

胆膵内視鏡検査件数の推移(年別)



大 分三愛メディカルセンターでは、消化器病・内視鏡センター長である錦織英史が2013年に着任して以来、消化器疾患診療はもちろん、膵がんの早期発見のための診療体制の確立に動んできた。10年で内視鏡検査総数は5倍の8,500件超/年、胆膵系内視鏡検査総数は約1,000件/年を平均とし、三愛総合健診センターとの連携や、近隣の医療機関との連携で、リスクの高い患者に精密検査を勧めている。結果、当院の早期膵がんの診断率は3.4%で、全国トップレベルとなっている。

海外の学術雑誌「Pancreas」に掲載
診察・治療はもちろん、現在全国多施設共同研究を展開し、2024年中には2,500例の膵臓検査のデータ収集が終了する見込みで、今後国内外に向けて発信し、早期膵がん発見のための手掛かりとして利用されることを期待している。



消化器内科医師
辻 博晶
Tsui Hiroaki

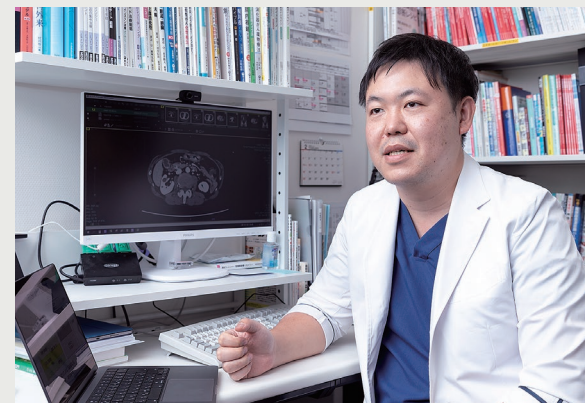
Profile

- 出身大学/防衛医科大学
- 専門分野/消化器内科(一般)、胆膵内科
- 認定資格等/日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本胆道学会所属、日本膵臓学会所属
- ①Favorite/映画鑑賞、サウナでととのう、お菓子

Other Doctor

消化器内科医師 久松 朱里 Hisamatsu Akari	Profile ●出身大学/大分大学●専門分野/消化器内科(一般)●認定資格等/日本内科学会認定医、総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本医師会認定産業医
---	--

消化器内科医師(非常勤)/小川 竜・佐上 亮太



消化器内科医師
佐藤 孝生
Sato Takao

Profile

- 出身大学/大分大学
- 専門分野/消化器内科(一般)、食道静脈瘤、胆膵内科
- 認定資格等/日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本内科学会認定医、総合内科専門医、日本門脈圧亢進症学会内視鏡技術認定医、日本胆道学会所属、日本膵臓学会所属
- ①Favorite/スタジオジブリ作品(祝アカデミー賞2024)

Engineer

消化器病・内視鏡センター技術部長・看護師 大波多 歳男 Ohata Toshio	Profile ●認定資格等/日本消化器内視鏡技師会理事、九州消化器内視鏡技師会副会長、大分県消化器内視鏡技師会監事、消化器内視鏡技師認定、カプセル内視鏡読影支援技師 大腸・小腸認定
--	---



消化器病・内視鏡センター長
錦織 英史
Nishikiori Hidefumi

Profile

- 出身大学/大分大学
- 専門分野/消化器内科(一般)、胆膵内科
- 認定資格等/日本膵臓学会認定指導医、日本胆道学会認定指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・九州支部評議員、日本消化器病学会専門医、日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医
- ①Favorite/魚釣り、ガンダム

Staff

内視鏡医師(非常勤含む):6名 看護師:6名 臨床検査技師:2名
臨床工学技士:2名 医師事務作業補助者:2名 受付:1名 洗浄員(外部委託):2名
[施設認定]
指導施設認定/日本消化器内視鏡学会、日本胆道学会、日本膵臓学会
関連施設認定/日本消化器病学会、日本外科専門医制度
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 施設基準取得

大分三愛メディカルセンター 消化器病・内視鏡センターの軌跡

2013年 10月	消化器病センター開設 (内視鏡検査数/約1,500件/年)
2014年	膵がんのリスク因子を特定するためのデータ収集開始
2016年	消化器病・内視鏡センター開設 (内視鏡検査数/約5,000件/年)
2018年	海外の学術雑誌「Pancreas」に早期膵臓癌の発見のためのスコアリングシステムを発表。全国各地の病院との早期膵臓癌発見に向けての多施設共同研究を開始
2023年	内視鏡総検査数/8,500件超/年 胆膵内視鏡検査/約1,000件/年

1月1日に発生したM7.6（最大震度7）の地震以降、 いまだ地震活動が続く現地に三愛会より総計11名が入った。

[大分JMAT_第1隊]

■派遣先/石川県七尾市・石川県小松市

■派遣期間/第1回目_1月15日(月)出発～1月20日(土)帰着

福岡空港から石川県・小松空港へ向かい、①金沢へ到着。活動初日は②七尾市の市街地や各医療機関12箇所を訪問し、状況を視察。翌日から③小松総合体育館を1.5次避難所とする準備に追われる。活動日を急遽1日延期し、JMATの第2隊が到着するまで、実際に避難者を診る時間もあった。

■派遣期間/第2回目_2月10日(土)出発～2月12日(月・祝)帰着

JMATは県内の各医療施設から合計10チームを継続して派遣。1.5次避難所の立ち上げ、避難者の健康管理、医療機能回復の支援を行った。

大分JMAT_三愛会メンバー

[第1回目メンバー]

三島康典理事長 銭花洋子看護師
三ノ丸智允作業療法士 安藤凌事務員

[第2回目メンバー]

三島康典理事長 都祥太救急救命士
銭花洋子看護師 坂田信子看護師

[大分DWAT_第2クール]

■派遣先/石川県珠洲市

■派遣期間/3月13日(水)出発～3月16日(土)帰着

医療チームに続き、介護福祉のケアチームとして参加。福祉ニーズの把握や、配慮すべき避難者のチェック、相談対応など、幅広く支援した。

大分DWAT_三愛会メンバー

川原良恵看護師 坂本有充介護福祉士

[大分DMAT_第1隊]

■派遣先/石川県穴水町

■派遣期間/1月16日(火)出発～1月22日(月)帰着

1月13日の夜、厚生労働省DMAT事務局よりDMAT派遣要請があった旨、大分県より連絡が入る。十分な打合せができないまま、被災地へ急ぐ。上下水道の止まった地域で活動を行う。石川県④穴水町へフェリー～陸路で向かい活動。⑤公立穴水総合病院(100床)での救急診療のサポートを主な業務として、各県から集結したDMATと共にER対応を行う。

大分DMAT_三愛会メンバー

玉井文洋医師 都祥太救急救命士
佐藤友香里看護師 高山麻実看護師



石川県・穴水総合病院でのDMAT業務

2024.1.1/能登半島地震 大分JMAT・大分DMAT・大分DWAT 派遣活動報告

大分三愛メディカルセンターをはじめとする
社会医療法人三愛会から
**医療・介護チームを
4度にわたり派遣。**

能登半島地震の救援に、
社会医療法人三愛会の医療・介護チームが
大分DMATと大分JMAT、
そして、大分DWATとして出動。
総勢11名が被災地における
医療・介護的な災害支援活動を行った。

2024年1月1日、16時
10分。石川県の能登半島、
地下16kmで直下型地震が
発生した。気象庁の発表によれば、
地震のマグニチュードは7.6。内陸
部で発生する地震としては非常
に大きな地震であった。

新年を迎えたばかりの日本に
衝撃が走った、それから2週間。
全国各地から集まる医療チーム
の中には、大分県のチームもあつ
た。そして、大分三愛メディカルセ
ンターをはじめとする社会医療法
人三愛会からも、医療班2チーム
がそれぞれ大分DMATと大分
JMATとして被災地へ。大分

JMATに至っては2度出動し
た。また3月に入り、介護福祉を
サポートする大分DWATとし
て看護師や介護福祉士が参加。
計4度の遠征で、三愛会からは
医師2名、看護師5名、救急救命
士1名、作業療法士1名、業務
調査員1名、介護福祉士1名、
総勢11名が被災地で災害支援活
動を行った。

JMAT/日本医師会災害医療チーム
DMAT/災害派遣医療チーム
DWAT/災害派遣福祉チーム



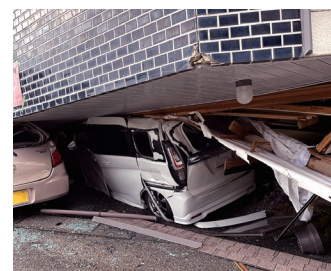
状況視察でまわった七尾市の被害状況。積雪もある厳しい状況下。



DMATが赴いた穴水の町の被害状況。倒壊した家屋が目の前に。



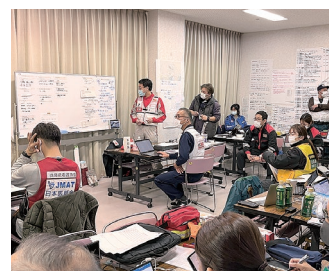
DMAT隊員が寝泊まりするスペース。寝袋で雑魚寝を余儀なくされる。



体育館内で、1.5次避難所を設営する業務なども行う。



スタッフと打合せ。他県のJMATとも連携して業務をこなす。



他県のDMATと連携しつつ、医療機関の救急業務をサポート。

〔 社会医療法人 三愛会 〕

大分三愛メディカルセンター
三愛総合健診センター

所在地	〒870-1151 大分県大分市大字市1213番地
TEL	097-541-1311
FAX	097-541-5218
病床数	190床
診療科	脳卒中センター、消化器病・内視鏡センター、 運動器センター、救急外傷センター（ER）、人工透析センター、 画像診断センター、リハビリテーションセンター、 救急科・外科・消化器外科・心臓血管外科・呼吸器外科・ 乳腺外科・大腸肛門外科・脳神経外科・整形外科・ 泌尿器科（人工透析）・形成外科・内科・総合診療科・ 消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・糖尿病内分泌内科・ リウマチ科・神経内科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科
専門外来受付	8:15～11:00/13:30～16:00 ※土曜日は、新患の方のみ 8:15～10:00となります。 ※診療開始時間は診療科によって異なります。
休診日	日曜日・祝日・土曜日午後 ※但し、救急・時間外診療は24時間体制です。
認定施設	二次救急指定病院、大分DMAT指定病院、DPC対象病院、 日本医療機能評価機構認定病院

介護保険相談センター さんあい
（大分三愛メディカルセンター内）

TEL	097-542-7409
サービス	居宅介護支援、介護予防居宅介護支援

三愛訪問看護ステーション
（大分三愛メディカルセンター内）

TEL	097-541-7007
サービス	訪問看護、介護予防訪問看護

のつはる診療所

所在地	〒870-1203 大分市大字野津原906番地の1
TEL	097-588-1311
診療科目	外科・内科・整形外科・循環器内科・リハビリテーション科
病床数	19床
サービス	通所リハビリテーション（デイケア）、介護保険相談センター
HPアドレス	notsuharu-san-ai.com/

三愛呼吸器クリニック

所在地	〒870-1143 大分市田尻419-1
TEL	097-541-2588
診療科目	呼吸器内科・内科
サービス	呼吸リハビリテーション
HPアドレス	kokyu-oita.com

たばるクリニック

所在地	〒870-1154 大分市大字田原字深田936番地1の1
TEL	097-541-2345
診療科目	外科・内科・消化器外科・リハビリテーション科
サービス	訪問看護ステーション

介護老人保健施設 たばる
（たばるクリニック併設）

TEL	097-542-4139
サービス	入所サービス、短期入所療養介護（ショートステイ）、 通所リハビリテーション（デイケア）

グループホームたばる
（たばるクリニック併設）

TEL	097-541-5298
サービス	入所サービス

介護老人保健施設 わさだケアセンター

所在地	〒870-1151 大分市大字市字大坪11番地の2
TEL	097-541-6655
サービス	入所サービス、短期入所療養介護（ショートステイ）、 通所リハビリテーション（デイケア）
HPアドレス	wasada-care-center.com ※アドレスを変更しています

有料老人ホーム さんさん

所在地	〒870-1151 大分市大字市566番地の3
TEL	097-529-5580
サービス	住宅型有料老人ホーム

さんあいヘルパーステーション
（有料老人ホームさんさん内）

TEL	097-529-5582
サービス	訪問介護、介護予防訪問介護

〔 社会福祉法人 三愛会 〕

特別養護老人ホーム そうだ藤の森

所在地	〒870-1123 大分市大字寒田202番地
TEL	097-567-8822

天領ガーデン・ふれあい館

所在地	〒870-1143 大分市大字田尻高尾783-1
TEL	097-578-7122

特別養護老人ホーム 天領ガーデン
（天領ガーデン・ふれあい館内）

TEL	097-574-7500
-----	--------------

※庄内診療所は2024年2月29日をもって閉院しました。



※2023年8月のトライアル時の写真です。



▲3月末、開設間近の学童フロア

待望の学童施設
3月26日【火】から開始

構想が生まれたのは、2023年の3月中旬。それからちょうど1年、2024年の春休みが始まるとともに、三愛の学童がいよいよオープンしました。

名称は「三愛学童『アイ・ステップ』」。楽しいロゴも完成し、現場では子どもたちの笑い声が響き渡りはじめました。



活動の様子はクラウドファンディングサイトから閲覧できます。

READYFOR 三愛メディカル [検索](#)

あなたの地域に、
三愛の講座が出張します。
出前講座 **無料** 受付中

大分三愛メディカルセンターでは、糖尿病サロンの「やスキンケア教室」をはじめ、医師や看護師、薬剤師などが健康に関することをお伝えする院内講座を開催しています。また、逆に皆さまの地域へ伺ってお話をする「出前講座」も実施しています。費用はかかりませんので、「健康づくり」にぜひ、ご活用ください。（会場費などの諸経費は申込者さまでご負担をお願いいたします）

たとえば…

- ◆脳卒中について
 - ◆おなかの病気について
 - ◆乳がんについて
 - ◆女性に多い疾患について
- お気軽にお申し込みください。



出前講座のお申し込みは

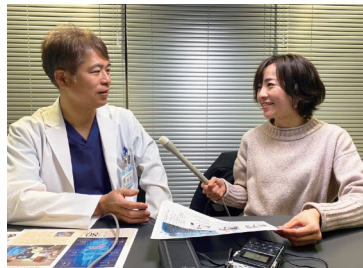
大分三愛メディカルセンター
TEL.097-541-1311



講演可能医師などはこちら



初回の収録。特別TELゲストも！



荒金さんと医師・錦織

「アイ・ステップ」ラジオ版
4月よりスタート

エフエム大分で毎週金曜日昼12時からオンエア中のラジオ番組「ちゅうか49」。4月5日の放送から、大分三愛メディカルセンター提供のコーナーが始まります。学童開設を記念して、コーナータイトルも『アイ・ステップ』としました。メインパーソナリティーの中華首藤さんに加え、コーナー担当では荒金由希子さんが登場。これまで別のメディアで「おなかの病気」を紹介してきた消化器内科医師・錦織英史も合流し、毎週さまざまな観点でお話を展開していきます。ご期待ください。



radikoなら、スマホで後からゆっくり聴くことも！

